

障害者・母子・乳幼児の医療費有料化反対！

「弱者」イジメ
「弱いのちの切り捨て」
「これ以上やめろ」

香川県の真鍋武紀知事は「本県財政は未曾有の危機的状況に直面している」として、「新たな財政再建方策」を提示しました。その一環である歳出カットの中には、乳幼児と母子・重度心身障害者の医療費助成制度が含まれています。苦しい人に暖かい手を差し伸べるのが政治ではありませんか。こともあろうに、特に厳しい状況にある人に負担を求めるとは非情としかいいようがありません。わたしたちは、乳幼児・母子・重度心身障害者の医療費有料化に反対し、撤回を求めます。

医療費有料化が実施されると、こうなります

乳幼児・母子家庭の場合

- 1ヶ月につき以下の自己負担
 - ・ 1 医療機関への通院…500 円
 - ・ 1 医療機関への入院…1000 円

重度心身障害者の場合

- 1ヶ月につき以下の自己負担
 - ・ 医療費の 1 割自己負担（上限 2500 円）
- 今後あらたに 65 歳になる人を補助の対象から除外

たとえば…

ケース 1：子どもが 2 人の家庭

耳鼻科に通院

自己負担 ¥500

皮膚科に通院

自己負担 ¥500



夜間急病診にかかる

自己負担 ¥500

翌日、かかりつけ医へ

自己負担 ¥500

1ヶ月あたりの負担額 **2000 円**

ケース 2：重度障害者

神経内科受診

自己負担 ¥500

内科受診

自己負担 ¥1000

外科受診

自己負担 ¥1000



障害者の場合、すでに自立支援法により、過酷な負担が課せられています

負担額 **2500 円**

※各制度とも市町税非課税世帯はこれまでどおり無料です

「香川県の乳幼児・母子・重度心身障害者の医療費有料化に反対し、撤回を求める実行委員会」加盟団体
 全国脊髄損傷者連合会香川県支部・脳性マヒ二次障害を考える会・ピア・ネットワーク香川・福祉オンブズ香川・香川ポリオ会・つながりの会・NPO法人明日にかける橋・きょうされん香川支部・香川県保険医協会・香川民主医療機関連合会・新日本婦人の会香川県本部・高松ボランティア協会・二五の会・福祉生協かがわ・NPO法人自立生活センター高松・全国障害者問題研究会香川支部・NPO法人香川県要約筆記サークル「ゆうあい」・NPO法人たかまつ市民活動応援団・香川筋萎縮症患者を救う会香川医療生協職員労組

〈連絡先〉

実行委員長 森澤繁雄（元香川県難病連会長） 高松市春日町1035-4 森澤気付 電話 087-841-9310（FAX兼用）

私たちは今でも、こんなに困っています これ以上の負担になれば 生きていく希望が持てません

障害者Aさん

私は1人暮らしの重度障害者です。障害基礎年金とその他の収入で15万円になります。家賃が4万円、毎日ヘルパーの支援を受けたりする費用、生活費など、今は障害のため3つの病院へ通院しています。医療費が一部負担になれば病院へ行けなくなります。

在宅障害者Cさん

自立支援法の軽減策で利用料は少なくなったが、それでも毎月の支出は収入を上回っており、貯金を取り崩す生活をしているため、これ以上の負担はとてできません。

母子家庭のEさん（高松市）

私は、高一と小二の子供を持つ母親です。女一人で二人の子供を育てていくのは、すごく大変です。学校にかかる費用、生活していく費用すべてが自分の仕事にかかってくるからです。今は、医療証や、児童扶養手当（一部減額されている）でなんとか生活しています。これが病院も有料化になり、扶養手当までなくなったら、生活はいちだんと苦しくなります。病気をしても病院にも行けなくなると思います。贅沢三昧の生活を送っているのなら、その福祉がなくなっても仕方ないと思いますが、そうではないのに、わずかな福祉をずっと助けてもらうワケではないのに、どうしてそんな弱いところばかりからとろうとするのでしょうか？ 私たち弱い者は上の方からは、踏んでもわからない、アリや、飛んでいたらたたいてつぶす蚊やハエの様にしか思ってもらえないのでしょうか？ 私たちだって、生きていく権利はあります。血も涙もないような政治はしてほしくありません。もう少しよく考えて、人間らしい人の心を持った政治をしてほしいものです。

障害施設利用者Bさん

自立支援法になってから、施設利用料を払うと、手元には必要なぎりぎりのお金しか残らず、この上に医療費はとて払えず病院にも行けなくなります。

3人の子どもをもつDさん（高松市）

高松で3人の子どもが生まれ、ずっとここで子育てしてきましたが、いつもいつも医療費が無料になることについて、ありがたいなあと感じてきました。転勤でよそから来た人も「高松は無料だからたすかるよね。前いたとこなんか1才までしか無料にならなかった。」と言っていました。子どもは自分の具合が悪いことについて、きちんと親に伝えられないから、母親だけで判断できないことも多々あります。小さなことでも心配になるとお金を気にせず、親は病院で医師の意見を気軽にきける、今の制度を後退させず、できたら県レベルで、無料にしてもらいたいと願っています。